

あっけし

ZOOM UP

イベントや活動など、まちのニュースをお届けします



か 地元食材を使ったふるさと給食 き飯と三平汁を食べたよ

2月10日、町内の小中学校で厚岸の地元食材を使ったふるさと給食約750食が提供されました。この日のメニューは、かき飯とタラを使った三平汁、鶏肉のマーマレード焼きとおかかあえの4品。給食の献立表には「かきは海のミルクと言われるくらい栄養がいっぱいです」とひとことが添えられていて、スケート授業から帰ってきたばかりの真龍小学校1年雪組のクラスでは、「いただきます」のあいさつとともに温かい給食をおいしそうに味わっていました。

中にはかき飯をおかわりする児童もいて、おなかいっぱい食べました。

人 地域支えあい研修会 人と人が結びつくことが大切

2月11日、厚岸町社会福祉協議会主催の地域支えあい研修会が厚岸情報館で開催されました。講師には北星学園大学社会福祉学部の岡田直人教授を迎え、町内外から92人が参加しました。

道外の町内会の取り組みを例にあげながら、『地域づくり』は、地域社会と命を守る保険であり、地域の支えあい活動は認知症予防と長生きにつながると説明。参加者は講師の巧みな話術で時には笑いながら、話に聞き入っていました。



や ガイアナイト2020inあっけし わらかな光の中で地球環境に思いをめぐらす

1月24日、海事記念館においてガイアナイト2020inあっけしが開催されました。このガイアナイトは平成20年に開催された北海道洞爺湖サミットを契機として、キャンドルのわらかな光の中で静かに地球環境に思いをめぐらすことを目的とし、厚岸町では初めての開催となりました。

アイスキャンドル点灯式のあと、プラネタリウム室においてほしぞら朗読会を行い、最後に屋外へ移動し、天体望遠鏡で冬の星座を観察しました。